

# 曲中新時代！

校長発信 2023. 7. 24 NO. 9

大曲中学校の1学期が今日終了しました。72日間の中で、生徒はたくさんの頑張りと成長した姿を見せてくれました。ただ日々頑張っている中で、挑戦している中で、失敗は付き物です。子供も大人も失敗しない人はいません。大切なことは、失敗した時に、それに気付こうとすること、そして、繰り返さないように努めることです。明日からの夏休み、時間を有効に過ごし、2学期成長した姿を見せてくれることを期待します。

私が終業式で生徒に語り掛けたことは、次の通りです。

新年度のスタートに当たって、まだ1年生が入学する前の始業式で、私が何をお話したか、2・3年生の皆さんは覚えているでしょうか。

3月のWBCで、大谷翔平選手の大活躍で日本が優勝した話をしました。

同じく3月に、世界にも類を見ないボールパークが開業した話をしました。

そこから、世界の目は今北広島に向けられているので、北広島で学ぶ中学生として、**誇りをもって、張りのある生活をしてほしい**という話をしました。

皆さんは1学期間を振り返ってみて、自分自身どうだったでしょうか？

4月、3年生の修学旅行は、特に前半、たくさんの頑張りが見られました。学年・学級の仲間と時間を過ごす中で、一段とまとまりが強くなったことと思います。また4月は、全校道徳の場面で、I先生のお話をしっかりと受け止めたことが、全校生徒でよいスタートを切ることにつながりました。

5月の体育大会は、直前のグラウンド清掃のボランティアもしっかりと頑張り、各学年が持ち味を発揮し、素晴らしい行事となりました。

6月から始まった中体連・中文連では、目標に向かって奮闘する曲中生徒の姿がありました。目標実現がかなわなかった部活動もありましたが、大切なことは、今までともに頑張ってきた仲間を信じることです。決してあきらめずに力を発揮するよう頑張り抜くことです。仮に結果が伴わなかったとしても、今まで誇りを持って力を培ってきたことは、決して無駄ではなく、次の目標に向けてのエネルギーになります。

1学期を振り返って、自分を大切にできたでしょうか。仲間を大切にできたでしょうか。悪気はなかったけれど、仲間に嫌な思いをさせたしまったということはないでしょうか。もし何か心当たりがある人がいれば、それは早めに改善しましょう。仲間を大切にすることが、自分を大切にすることにつながり、自分の成長にもつながります。

皆さんにお話しすることは、一つです。これからも、「**誇りをもって、張りのある生活を心掛けてほしい**」ということです。

皆さんには、一人ひとり名前があります。それは、家族の一員であることを表しています。家族の一員としての誇り。そして、学校を離れて生活していたとしても、大曲中学校の生徒であることには変わりはありません。大曲中学校の生徒としての誇り。背負っているものが大きいほど苦勞も多いかもしれませんが、それを実感できるということが、あなたのやりがいであり、可能性です。

この夏休み、皆さんは校外で、大曲中学校は素晴らしい学校だということをぜひ宣伝してきてください。全道・全国大会に出場する選手、コンクールに挑む吹奏楽部の皆さん。子ども大使として東広島市を訪問するNさん。そしてその他の生徒は、校外での日常のふるまいの一つ一つを通して。

武道の世界に、「その一歩は命を運んでいる」というものがあります。あなたの一歩は、大曲中の名誉を運んでいます。

誇りある生活を通して自信を深め、2学期笑顔でまた顔を揃えましょう。